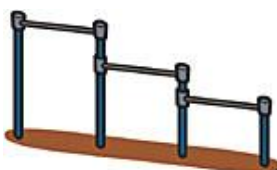
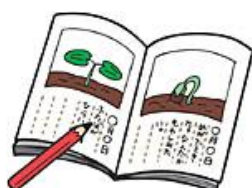


平成24年度

家庭学習の手引き

～進んで学ぶ子どもを育てるために～



家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で子どもたちの学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力がより一層伸びていきます。この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。



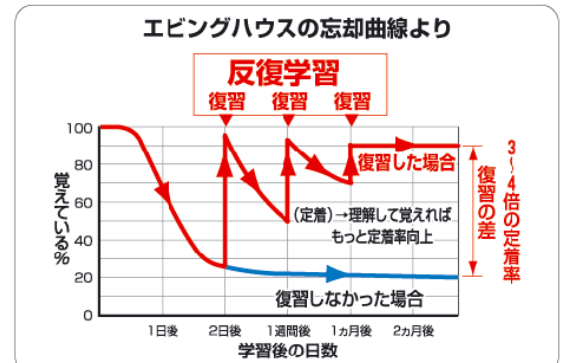
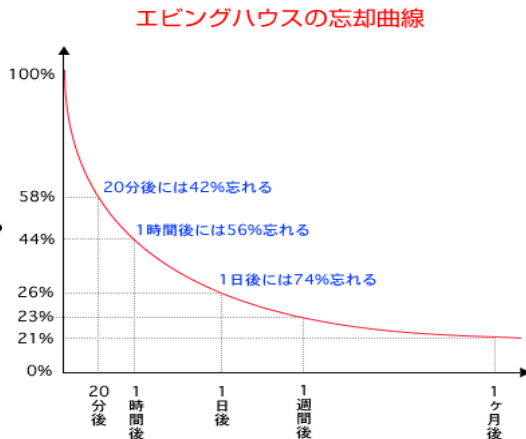
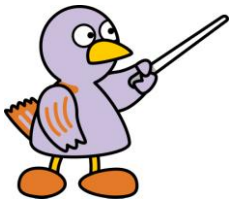
吉川市立関小学校

1 家庭学習の意義

家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます。

①学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。宿題を必ずやり、時間があったら自主学習を行うことで、学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信に変わります。



※ヘルマン・エビングハウス(1850~1909・独・心理学者)忘却学説を打ち出す。

②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになるのです。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん鍛えていきましょう。

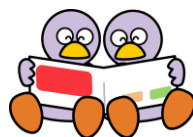
③学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。



④がまん強さ、根気、集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。



⑤家族のふれあい

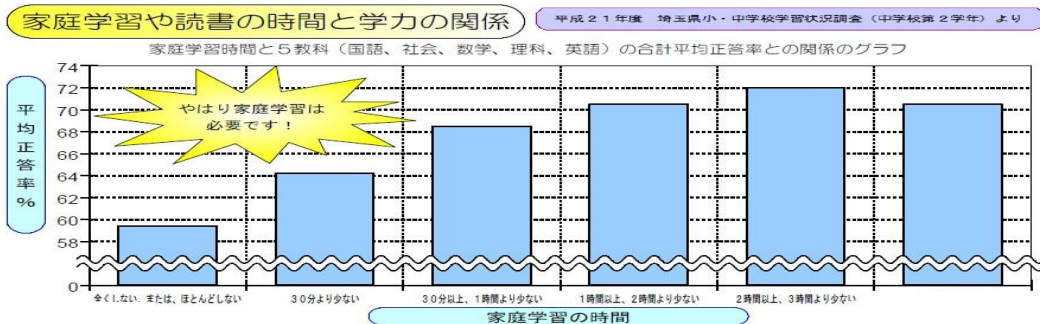
「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子供に親が関わることにより、コミュニケーションがはかれます。家族のふれあいの機会が増えることは、子供の精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

2 家庭学習のポイント

家庭学習のやり方次第で、効果がぐんと上がります。いくつかのポイントを上げておきますので、ご参考になさってください。

①決まった時間に毎日コツコツと行う

家庭学習は毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日もあると思います。そんな時は、先に済ませるとか、テレビやゲームの時間を少なくするなどの工夫も必要になってきます。家族で十分話し合い、実行してください。



②集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して勉強することが長続きのコツです。学年×10分を目安にして集中してがんばることを心がけてください。



③家庭学習をしている時は、テレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、見たいテレビの音が聞こえるような環境も子供は集中できません。静かに学習できる環境をつくるのが大切です。

④整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど、気の散るものが近くにあっては学習に集中できません。落ち着いて学習できる環境づくりを心がけたいものです。



⑤子供のがんばりを認め、ほめて励ます

親や教師が、子供のがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。強制したり間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。

「よくやったね。」 「がんばったね。」 「続けることで、力がついてきたね。」

「目標どおりできたね。」 「明日もがんばれるといいね。」

「言われなくても学習できることは、すばらしいことだよ。」

⑥学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。学校でも家庭でも、生き生きと学習に取り組めるよう規則正しい生活をおくりましょう。



かていがくしゅうのてびき

よしかわしりつ
せきしょうがっこう
1ねんせい

やくそく

- ☆ きまったじかんにしましょう。
- ☆ テレビをけしましょう。

べんきょうじかんのめやす
10ぷん

しゅくだい

- ☆ おんどく(こえをだして よみましょう)
- ☆ ひらがな, かたかな, かんじ(かきじゅんにきをつけて)
- ☆ さんすうのもんだい(どりる, ぷりんと, きょうかしよ)など



1ねんせいではこんなことが できるようにしよう

- おおきなこえで, ほんがよめる。
- ひらがな, かたかながよめる, かける。
- ならったかんじをよめる, かける。
- えんぴつをただしくもってじをかける。
- じゅんじょよくはなせる, かける。
- 「は」「を」「へ」をただしくつかってぶんをかける。
- たしざん, ひきざんができる。



しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- どくしょをする。(よんでもらう)
- きょうかしよをうつす。
- どりるをする。(けいさん, かんじなど)
- えにつきやにつきをかく。
- じてんやずかんでしらべる。
- いきものやくさばなをかんさつする。
- とけいをみてじかんをいう。
- いえのてつだいをする。
- あした がっこうで べんきょうするところをみる。



- おたよりをおうちのひとにみせましたか。 ○しゅくだいは, おわりましたか。
- あしたのじかんわりをそろえましたか。 ◎もういちど たしかめましょう。

かていがくしゅうのてびき

吉川市立関小学校2年生

やくそく

- ☆ きまったじかんにしましょう。
- ☆ テレビをけしましょう。

べんきょうじかんのめやす
20ぷん

しゅくだい

- ☆ 音どく(こえをだして よみましよう)
- ☆ かん字(よく見て、正しいかきじゅん)
- ☆ さんすうのもんだい(ドリル,プリント,教科書)など



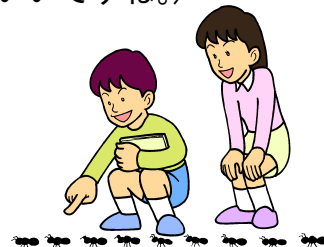
2年生ではこんなことが できるようにしよう

- 大きなこえで、本がよめる。
- 「、」や「。」に気をつけてすらすらよめる。
- ならったかんじを正しくよめる、かける。
- じゅんじょよく話せる、かける。
- たしざん、ひきざんが正しくできる。
- かけざん九九がすらすらいえる。
- じょうぎをつかってじょうずにせんがひける。
- きめられた長さのちよくせんがひける。



しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- どくしょをする。(よんでもらう、むかしばなしもいいですね。)
- きょうかしよをうつす。
- ひっさんなどのドリルをする。
- かけざん九九をおぼえる。
- △や□をしらべる。
- にっきを書く。
- 家の手つだいをする。
- 生きものや草花をかんさつする。
- じてんや図かんでしらべる。
- あした学校でべんきょうするところを見る。(きょうかしよ)



- おたよりをお家の人に見せましたか。 ○しゅくだいは、終わりましたか。
- 明日の時間わりをそろえましたか。 ◎もういちど たしかめましよう。

家でい学習の手びき

吉川市立関小学校3年生

やくそく

◎目標を立てて取り組みましょう。

- ☆ 毎日、きめた時間につくえに向かいましょう。
- ☆ 1日の家でい学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽をけして勉強しましょう。

学習時間の目安
30分

しゅくだい

- ☆ 国語の音読(学習しているところを読む)
- ☆ かん字練習(習ったかん字を練習しよう)
- ☆ 算数のもんだい(ドリル、プリント、教科書など)



3年生ではこんなことが できるようにしよう

- 音読がしゅうかんになる。(気持ちこめて読む)
- 習った漢字を読める、書ける。
- 国語じてんを正しく使える。
- みじかい詩やことわざをおぼえる。
- しゅ語とじゅつ語がわかって文を書くことができる。
- わり算ができる。コンパスを正しく使うことができる。
- はかりを使って重さがよめる。
- いろいろな三角形のちがいが分かる。
- 地図の見かたと地図記号がわかる。
- ローマ字が読める。



しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- 今日、学校で勉強したところを読む。
- 読書をする。(はいくなども読んでみましょう。)
- まちがったもんだいや、分からなかったもんだいをやり直す。
- 教科書をよく見て写す。
- 作文や日記を書く。
- じてんや図かんで調べる。
- いろいろな図形をかく。
- いろいろなドリルに取り組む。
- 生き物や草花を観察する。
- 家の手つだいをする。



- おたよりをお家の人に見せましたか。 ○しゅくだいは、おわりましたか。
- 明日の時間わりをそろえましたか。 ◎もういちど、たしかめましょう。

家庭学習の手引き

吉川市立関小学校4年生

やくそく

◎目標を立てて取り組みましょう。

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

学習時間の目安
40分

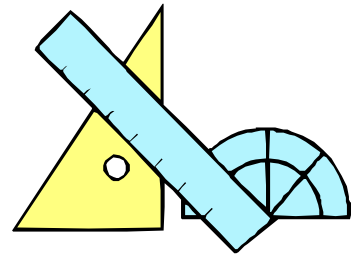
宿題

- ☆ 国語の音読(学習しているところを読む)
- ☆ 漢字練習(習った漢字を練習しよう)
- ☆ 算数の問題(ドリル, プリント, 教科書)など



4年生ではこんなことが できるようにしよう

- 音読のしゅうかんが身につく。気持ちをこめて読む。
- 習った漢字を読める, 書ける。
- 国語じてん, 漢字じてんを正しく使える。
- 短い詩やことわざをおぼえる。
- ことばのつながりを考えて文章を書くことができる。
- わり算の筆算ができる。
- 平行四辺形や台形のとくちょうが分かる。
- 分度器を正しく使うことができる。
- 47都道府県の名前と位置が分かる。
- パソコンでローマ字入力ができる。



宿題のほかに こんなこともしてみよう

- 学校で習ったことの復習をする。
- いろいろなドリルに取り組む。
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直してたしかなものにする。
- 読書をする。(はいくなども読んでみましょう。)
- 教科書をよく見て写す。
- 百人一首や詩をあんしょうする。
- 作文や日記を書く。
- 読書の感想を書く。
- じてんや図かんで調べる。
- 生き物や植物を観察する。
- いろいろな図形をかく。
- 家の手伝いをする。
- 明日, 学校で勉強するところを予習する。



- お便りをお家の人に見せましたか。
- 宿題は, 終わりましたか。
- 明日の時間わりをそろえましたか。
- ◎もう一度 たしかめましょう。

家庭学習の手引き

吉川市立関小学校5年生

やくそく

◎目標を立てて取り組みましょう。

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

学習時間の目安
50分

宿題

- ☆ 国語の音読(学習しているところを読む)
- ☆ 漢字練習(習った漢字を練習しよう)
- ☆ 算数の問題(ドリル、プリント、教科書)など



5年生ではこんなことが できるようにしよう

- 音読の習かんが身につく。気持ちをこめ、間を考えて読む。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。 ○古典を読むことができる。
- 国語辞典、漢字字典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 分母の異なる分数のたし算・ひき算ができる。
- 割合、百分率を使った問題を解くことができる。
- 小数のかけ算・わり算ができる。 ○気候にあった生活の工夫が分かる。
- 47都道府県の名前と位置が分かる。
- 日本のつながりの深い国の名前と位置が分かる。
- パソコンを使って必要な情報を見つけることができる。

宿題のほかに こんなこともしてみよう

- 読書をする。(漢詩や漢文などを音読してみよう。)
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直してたしかなものにする。
- 教科書をよく見て写す。 ○百人一首や詩を暗しようする。
- 作文や日記を書く。 ○読書の感想を書く。
- じてんや図かんやパソコンなどで調べる。 ○学校で習ったことの復習をする。
- いろいろなドリルに取り組む。
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめる。
- 生き物や植物を観察する。 ○家の手伝いをする。
- 明日、学校で勉強するところを予習する。

- お便りをお家の人に見せましたか。 ○宿題は、終わりましたか。
- 明日の時間わりをそろえましたか。 ◎もう一度 たしかめましょう。

家庭学習の手引き

吉川市立関小学校6年生

やくそく

◎目標を立てて取り組みましょう。

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

学習時間の目安
60分

宿題

- ☆ 国語の音読(学習しているところを読む)
- ☆ 漢字練習(習った漢字を練習しよう)
- ☆ 算数(ドリル、プリント、教科書など)



6年生ではこんなことが できるようにしよう

- 音読の習慣が身につく。内容をおさえながら読む。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 国語辞典、漢字辞典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 古文を読むことができる。○帯分数のたし算・ひき算ができる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。○拡大や縮小の意味が分かる。
- XやYなど文字を使った式をかくことができる。
- 歴史上の人物や出来事について説明することができる。
- 理科の実験から、分かったことを理由をつけて説明することができる。
- パソコンを使って必要な情報を見つけることができる。



宿題のほかに こんなこともしてみよう

- 学校で習ったことの復習をする。 ○いろいろなドリルをやってみる。
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直して確かなものにする。
- 読書をする。(漢文などを音読してみよう。)
- 教科書をよく見て写す。 ○百人一首や詩を暗唱する。
- 作文や日記を書く。 ○読書の感想を書く。
- 辞典や図かんで調べる。
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめる。
- 生き物や植物を観察する。 ○家の手伝いをする。
- 明日、学校で勉強するところを予習する。



- お便りをお家の人に見せましたか。 ○宿題は、終わりましたか。
- 明日の時間割りをそろえましたか。 ○もう一度 確かめましょう。

